

# SOCIAL ACTY

一人ひとりが生き生きと生活できる社会の実現を目指しています。



## What SOCIAL ACTY?

「一人ひとりがいきいきと生活すると集団や組織もいきいきしてくる。そして、社会全体もいきいきとしてくる。」そんなことを願っています。

そのためには、一人ひとりが持っている能力が発揮できること。それを引き出すお手伝いをしたいと考えています。

Facilitationは、引き出す、容易にする、という意味があります。

能力を引き出す、やる気を引き出す、成果を引き出す。

まちづくりも組織も社会も楽しくなりますね。

ご興味がある方はお気軽にお問い合わせください。



まちづくり  
&  
組織の活性化  
ファシリテーション



# FOR CHILDREN

## 小学生に向けて



### 租税教室

「租税教室」は7年担当させていただきます。税金は「社会の会費」と「主権者教育」を関連させて楽しい授業を心がけています。

こどもの権利について中高生が語り合う「子ども会議」コロナ禍で開催を見合わせていましたが、2年ぶりに開催。コロナ禍から何を学ぶか？についても話し合いました。



### 子ども会議



### 放課後アクティビティ

#### SDGsゲーム

小学校1～3年生と「筆遊び」筆を持って、墨汁で！漢字を楽しんで書いています。

「まちたんけん」で手作りの靴屋さんを訪問しました。



# ONLINE

## 市民参加の場でも オンライン&ハイブリッド！



### オンラインHUG

オンラインでHUG（避難所運営ゲーム）をしています。集まるのが難しい人遠距離・組織で活用されています。

100回以上開催している「未来茶輪」フューチャーセンターをめざしています。100回記念をハイブリッドで開催しました。



### 未来茶輪



### 放課後 アクティビティ

「小学生×日本の古典」も！いつか、百人一首を！と「坊主めぐり」をしています。ハイブリッドで行いました。

子どもを習い事に通わせたいでも、フルタイムだと難しい。その課題を解決しよう！と社会実験をしています。今後の展開を考えるWSを行いました。



### ハイブリットWS

# RESEARCH & DEVELOPMENT



### 木こり体験

森林の大切さを知り伐採を体験する地元の催しに参加しました。



### 地域主体のまちづくり



### 生活経済政策

・名古屋都市センターの「アーバン リサーチ」  
・生活経済研究所の「生活経済政策」

・ホテル養殖の取組をヒアリング



# 2022 IN REVIEW

## 2022年 ふりかえり

コロナ禍3年。少しずつ人と会うことができるようになってきました。直接会って話すことの大切さを知り、オンラインの便利さも体験してきました。直接会うこと+オンラインのメリットを生かせる「ハイブリッド」での機会も増えています。ハイブリッドでも、ストレス少なく話し合いができる！を目指して、精進を続けた2022年でした。コミュニケーションのスタイルが変わっても、より多くのかたが「まち」に関われるように工夫したいと考えています。「みんなで子どもを育てる」ことに関わっていきたいと、子どもをキーワードにして活動、研究もしています。

## CONTACT

株式会社 ソーシャル・アクティ 代表取締役 林 加代子

HP→<http://social-acty.com> TEL→0564-53-0370 MAIL→[social-acty@m4.catvmics.ne.jp](mailto:social-acty@m4.catvmics.ne.jp)